



須古地区地域づくり協議会 設立準備委員会通信

こんにちは、須古地区地域づくり協議会設立準備委員会です。令和元年から始まった協働によるまちづくりも、みんなで一緒に話し合うという大きな山場を迎えました。次回の会議では誰ひとり取り残さない須古地区をめざして、つくっていききたい須古地区の未来に向けた柱を考えます。

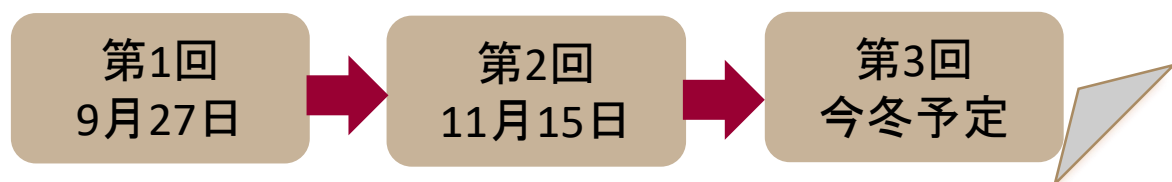
第2回須古地区の暮らしと未来をつくる会議

開催日 令和2年11月15日(日)
時間 午前9時30分～午前11時40分
会場 須古小学校体育館
参加者 須古地区のみなさん
申込期限 令和2年11月10日(火曜日)
主催 須古地区地域づくり協議会設立準備委員会



※参加を希望される人は、区長さんまたは役場へご連絡ください

全3回のワークショップを開催します。第1回は終了しましたが、まだまだ話し合いをしていますよ～！待っています。



須古地区地域づくり協議会
設立準備委員会 香月委員長



須古の未来をみなさんと共に考え、暮らしやすい地域づくりに微力ながら尽力いたします

神辺地区から参加の山下さん



須古に来て10年です。もっと須古を好きになる地域の形づくりに楽しく参加しています

令和2年10月号

発行 須古地区地域づくり協議会設立準備委員会

問合せ 白石町役場総合戦略課 ☎0952-84-7132



地域のこと、 ワイワイ 話そうよ！

会議開催レポート1号



第1回須古地区の暮らしと未来をつくる会議

- 台風や河川の氾濫で避難を考えるようになった
- 高齢者だけの世帯が増え、地域の維持管理が難しくなっている

- 神事や祭りごとの後継者が不足しているので、近隣の地域との協力が必要になっている
- 区の行事の減少でつながりが少なくなっている。顔がわからない

1 こんなことが起こってるの



第1回須古地区の暮らしと未来をつくる会議

地域のことをワイワイ話してみたよ



2 困っていることもあるよ

- 隣の地区との交流が少ない
 - 人口が少ないので役回りが何回も回って来る、限界
- 高齢者だけで暮らす世帯があり、何かあった時に気づけない
- 地域の神事を継承する若手がいない
 - 防災時のマンパワー不足で、すぐに動けない

3 こんな地区になったらいいな

- 総会などで女性が発言できたらいいな
- 広い範囲で動く自主防災組織があるといいな
- 高齢者が安心して住むことができるよう、顔の見える関係のある地域になったらいいな
- 子どもが安心して暮らせるまちづくりができたらいいな
- 須古城のてっぺんで須古を感じながら今日のような話し合いをしたいな

▼会場から一番多く聞かされたのは「こんな風になりたい。誰かと思いを伝えたい」と感じている人が多くいることも、今回の会議で分かってきました。一緒に考えながら創りあげていくワクワクする体験が、須古地区地域づくりの協働のベースとなるでしょう。

▼「人がいない」ことは共通の悩みだった。第1回はそれぞれの地域のことを知り合うことを目標に話し合いをしました。同じ大字内であったもそれぞれの地域事情が違って、情報を発信したり、「もう少し早く祭りができなくらいでいいよ」と似たような悩みにも、思わず身を乗り出したりと、話の途切れることがない時間となりました。

▼待ちに待った、須古地区の暮らしと未来をつくる会議「第1回」が開催されました。すっきりとした秋晴れの9月27日、白石町総合センターで開催。コロナ対策の整った会場には約200人の方が集まり、2時間半にわたり須古地区を語り、一緒に未来を考えました。

2050年には須古の各地区の人口が約半分になると推計されています。確実に今よりも少ない人数で、見守りや災害対応、地域行事を実施するにはどうしたらいいのかをしっかりと考え、備えることが必要です。



押さえておきたい！ポイント

人口減少は避けられない！

かんたんに言うと「同じ目的のために、協力して働くこと」です。生活スタイルや社会情勢の変化から、単独での地域の困りごとへの対応が難しくなっています。個人や地域団体、NPOや行政が共に協力して動いて、みんなで安心できる毎日をつくっていきましょうというものです。



押さえておきたい！ポイント

協働するって、どんなこと？

